

即行動!!現場主義

神奈川県議会議員

芥川かおる



き らめく座間の未来のために!
ず っと変わらない姿勢!
な るほど県政!

— 県政レポート — 令和元年 7月 第20号

ふるさとの未来を切り拓く。

4月の統一選挙におきまして二期目の当選を果たさせていただき、改めて身が引き締まる思いです。一方、県内13選挙区で無投票という結果となり、このことに対し、私自身、重く受け止めております。

この4年間で県民の皆さんへ県議会議員の役割、必要性を理解していただくためにも、研鑽努力してまいり所存でございます。

さて、二期目も「即行動・現場主義」のスローガンを掲げ、様々な県政課題の解決に向け取り組んでまいります。特に防災・減災対策におきましては、県民が安心・安全で日々の生活が送れるよう、引き続きスピード感を持って取り組んでまいりをお誓い申し上げます。



神奈川県議会 令和元年第2回定例会 予算委員会より (7月2日)

6月補正予算案の基本的な考え方について



◆質問— 6月補正予算案に関して、いろいろと伺ってきた。

最後に、3期目が本格的にスタートする今回の補正予算に込めた知事の「思い」について伺いたい。

◆知事答弁— 今回の補正予算は、私の3期目、最初の予算編成でありまして、これまでの2期8年にわたる取組みを更に進めるとともに、未来社会の創造につながる新たな取組への挑戦も盛り込んでおります。

具体的には、まず「持続可能な神奈川」を更に進化、発展させるため、医療的ケア児の通学支援など、障がい児・障がい者の地域生活を支える取組でありますとか、中小企業・小規模企業経営者の未病改善、また、防災のための公共事業など、県民生活に密着した施策を充実・強化してまいります。

神奈川県議会 令和元年第2回定例会 本会議での一般質問より (6月24日)

県道42号線の防災工事について

◆質問— 県土整備局長に伺う。県立座間谷戸山公園の南側斜面で進められている防災工事の今後の見通しはどうか、見解を伺う。

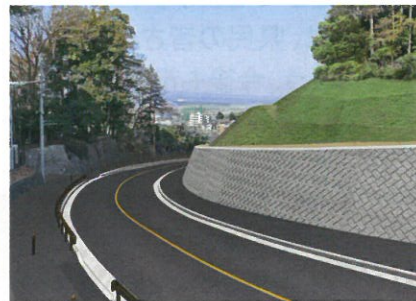
◆答弁— 現在、工事延長約280m区間のうち約3分2の区間で、斜面の工事が完了しており、残る工事を精力的に進め、令和3年の完成を目指します。



着工前



着工後



完成予想図

出典：県土整備局提供資料

神奈川県議会 令和元年第2回定例会 本会議での一般質問より (6月24日)

公立小・中学校における不登校の未然防止について

◆**質問**— 地域にある小学校と中学校が常に連携し、子どもを取り巻く課題を共有しながら取組を進めることが重要であると考えている。教育長に伺う。公立小・中学校における不登校対策、中でも、未然防止の取組について、見解を伺う。

◆**答弁**— 昨年度末に、新たな不登校を生まないための、ポイントなどを盛り込んだリーフレットを作成し、公立小・中学校の全教員に配布するとともに、教員研修等での活用を始めました。また、今年度から2年間の予定で、国、県教育委員会、横須賀教育委員会が連携し、不登校の未然防止を目的とする調査研究事業を開始しました。今後は各市町村教育委員会と連携し、全県に普及していけるよう、不登校の未然防止策の充実を図ってまいります。

〈平成29年度 神奈川県児童・生徒の問題行動等調査(公立学校)〉

●主な調査結果の前年度比較

項目(調査対象)	29年度	28年度	増減
暴力行為の発生率 (公立小・中・高等学校)	9,413件	8,195件	1,218件 増加
いじめの認知件数 いじめの解消率 (公立小・中・高・特別支援学校)	19,997件 78.5%	14,375件 81.3%	5,622件 増加 2.8ポイント減
小・中学校長期欠席者数 (公立小・中学校)	15,947人	15,081人	866人 増加
うち、小・中学校不登校 児童・生徒数	11,710人	10,417人	1,293人 増加
高等学校長期欠席者数 (公立高等学校)	7,371人	7,192人	179人 増加
うち、高等学校不登校 生徒数	2,437人	2,556人	119人 減少
中途退学者数 (公立高等学校)	2,920人	2,856人	64人 増加

※ 中学校には中等教育学校前期課程を、高等学校には中等学校教育後期課程を含む

出典：神奈川県ホームページ

豚コレラは人に感染しません。

豚コレラは、豚・いのししの病気です。
豚コレラの人への感染は、国際機関(OIE:国際獣疫事務局)の情報においても世界的に報告されておりません。

豚コレラにかかった豚のお肉が市場に出回ることはありません。

豚は、と畜場法に基づき、全頭、都道府県等のと畜場職員が異状や感染がないか検査しています。豚肉は、この検査に合格したものが市場に流通することとなります。

出典：農林水産省ホームページ

●豚コレラポスター

豚コレラ対策について

◆**質問**— 昨年9月、国内で発生した豚コレラは、海外から侵入したとされており、インバンドの増加により、今後、海外の家畜伝染病が国内に侵入するリスクは高まっていくと考えられる。本県に豚コレラを侵入させないため、どのように取り組んできたのか、また、今後どのような対策を講じていくのか、見解を伺う。

◆**知事答弁**— 豚コレラの感染防止や初動防疫体制を強化するため、6月補正予算案に、養豚農家が行う野生イノシシ侵入防止のための柵の設置に対する補強、畜産技術センターが開発、飼育している種豚を守るための野生動物侵入防止ネットの設置、豚コレラが発生した場合に迅速なと殺を行うための電撃式殺処分機の備蓄などの経費を計上したところです。

県では、養豚農家に寄り添った取り組みをスピード感を持って進めることにより豚コレラの発生・拡大の予防に万全を期してまいります。

水害や土砂災害からの避難対策の充実について

◆**質問**— これから本格的な出水期を迎える中、昨年の西日本豪雨の教訓を踏まえ、市町村と連携して、水害や土砂災害からの避難対策の充実に取り組む必要があると考えるが、どのように取り組むのか、見解を伺う。

◆**知事答弁**— ひとたび氾濫すれば甚大な被害が想定される河川を対象に、関係市町村や防災関係機関を交えた水害図上訓練を実施し、相互の連携体制を確認をしています。水害や土砂災害は、早めの避難で、命を守ることができます。

県は、県民の皆さんが、いざという時に適切な避難行動をとっていただけるよう、今後も市町村等とさらなる連携強化を図りながら、風水害からの逃げ遅れゼロを目指してまいります。



提供：岡山県

